

第1節 健康危機管理

1 健康危機管理に関する研修会等

実施日時 開催場所	内 容	参集者	参加 人数
平成 25 年 11 月 6 日 (水) 13:30~16:30 いしかわ総合 スポーツセンター	【感染症予防研修会】 ・講話「結核対策と予防接種法の改正について」 講師 石川中央保健福祉センター職員 ・講話「冬期に流行する感染症と感染予防対策の実際について」 講師 公立松任石川中央病院 感染管理認定看護師 嶋田 由美子氏 ・実技「ノロウイルスの吐物処理について」 講師 石川中央保健福祉センター職員 助言者 公立松任石川中央病院 感染管理認定看護師 嶋田 由美子氏	保育所・幼稚園・ 高齢者福祉施設 等の担当者 市町担当者	166 人
平成 25 年 12 月 25 日 (水) 11:00~12:00 石川中央保健福祉センター	【健康危機管理研修会】 ・「高病原性鳥インフルエンザ発生時の健康対策班マニュアル」について 講師 石川中央保健福祉センター職員 ・「口蹄疫発生時の健康対策班マニュアル」について 講師 石川中央保健福祉センター職員	市町職員 保健所職員	22 人

第2節 関係機関との連携

1 地域保健・医療・福祉連携対策連絡会

会議名	実施日 開催場所	参集者	出席 人数	目的	会議内容
保健所運営協議会	11月29日(金) 県庁	医師会、歯科 医師会、薬剤 師会、福祉関 係、利用者、 市町	11	地域保健及び保健所の運営に 関する事項を審議する。	<ul style="list-style-type: none"> 石川中央保健所の事業概要について 市町との連携について ハイリスク妊娠等支援事業について 意見交換
石川中央医療圏保 健医療計画推進協 議会	7月23日(火) 県庁	医師会、歯科 医師会、薬剤 師会、病院、 食生活改善推 進協議会、女 性団体、市町、 消防署	20	地域保健・医療の基本的指針 の策定及び充実強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 第6次石川県医療計画について 平成25年度在宅医療対策について 平成25年度糖尿病対策について 意見交換
介護保険施設連 絡会	6月27日(木) 県庁	管内の介護老 人福祉施設、介 護老人保健施 設、市町	32	健康危機管理における施設の 体制整備を更に推進するた め、現状や課題を整理し、具 体的な対応策を考え、実践で きるための方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 監査及び実地指導の結果について 施設における災害対策について
認知症高齢者支援 事業担当者連絡会	2月28日(金) 県庁	医師会、石川県 認知症疾患医 療センター、市 町、県担当室	15	管内における認知症対策につ いて情報交換並びに認知症支 援のあり方について検討し、 より効果的な認知症対策の支 援とネットワークの構築を図 る。	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の取り組みと進捗状況に ついて オレンジプランについて 認知症高齢者支援における今後の課 題について
地域包括支援セ ンター担当者連 絡会	2月28日(金) 県庁	管内地域包括 支援センター	10	長寿社会課主催で県下全域を 対象に開催されたが、地域差 が大きいことから、今後の圏 域での開催について検討す る。	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度以降の地域包括支援セン ター担当者連絡会について
石川中央医療圏 地域・職域連携推 進連絡会	11月7日(木) 県庁	医師会、国保連 合会、県担当 課、市町	11	特定健診・特定保健指導の円 滑な実施と生活習慣病の発症 予防及び重症化予防が効果的 に実施できるよう、関係機関 の相互の連携を図り、課題や 方策を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診・特定保健指導の実施状況 について 石川県における生活習慣病予防対策 等について 意見交換 「生活習慣病予防対策の 効果的な推進体制について」
歯の健康づくり 推進地域会議	2月3日(月) 県庁	歯科医師会、 市町	12	生活習慣病の中でも糖尿病と 歯周病の関係について理解 し、地域の歯科保健対策の充 実について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 講演「歯周病と糖尿病について」 講師：沖野歯科医院長 沖野善則氏 意見交換 「生活習慣病対策としての歯科保健 事業の取組みについて」

会議名	実施日 開催場所	参集者	出席 人数	目的	会議内容
がん検診担当者連絡会	11月22日(金) 県庁	市町	7	がん検診の受診率向上及び精度管理向上に向けた課題や施策について検討する。	・がん検診の実施状況 ・意見交換 受診率の向上 検診精度の向上

2 糖尿病重症化予防ネットワーク事業

石川県第6次医療計画は平成25年度から開始し、糖尿病医療については、保健と医療が一体的に対策を推進することを目指して郡市医師会単位で取組むこととなった。糖尿病患者の早期発見・早期治療や重症化予防のための診療連携体制の構築を図ることを目的としている。

	白山野々市地区糖尿病重症化予防ネットワーク協議会	河北地区糖尿病発症・重症化予防ネットワーク協議会
委員	公立松任石川中央病院 公立つるぎ病院 医師会 眼科医会 歯科医師会 薬剤師会 行政（白山市・野々市市） 保健福祉センター	金沢医科大学病院 河北中央病院 医師会 眼科医会 歯科医師会 薬剤師会 行政（かほく市・津幡町・内灘町） 保健福祉センター
事務局	公立松任石川中央病院	金沢医科大学病院
設立会及び第1回協議会	H25.8.19	H25.8.27
第2回協議会	H25.12.20	H26.3.17
協議会主催の研修会等	・病診連携症例検討会(H26.2.7) ・コメディカル対象研修会(H26.2.27) ・市民講演会(H26.3.21)	・金沢医科大学病院地域医療懇親会(H25.11.16) ・病診連携ルール共有化のための講習会(H25.12.19) ・河北・内灘・栗崎糖尿病を考える会(H26.2.26) ・糖尿病を知ろう勉強会(H26.3.2) ・モデル事業打合せ3回
関係機関への事業説明及び事業検討	16回	18回
市町事業検討会	2回(白山市糖尿病重症化予防事業検討会)	3回(河北郡市衛生部会)
保健と医療の連携体制構築に向けての検討会		5回(金沢医科大学病院医師) 1回(医師会長)
糖尿病対策成果発表会	H26.3.15	
計	24回	37回

※ 河北地区の金沢医科大学病院医師及び医師会長との連携体制構築の検討には、河北郡市3市町の代表と同行。体制案等の作成、参加者の日程調整は当センターが実施。

※ 協議会補助金申請書（申請・変更・実績）に関して、各事務局と電話・メールで相談に対応。

2 市町支援

(1) 活動方針

- ア 市町（関係機関）からの要望に応じて支援を実施する。
- イ 管内の状況を把握し、保健所が介入した方がよいと判断した支援等を実施する。

(2) 基本的な視点

- ア 社会情勢の変化により必要となる体制整備が円滑に推進されるよう支援する。
- イ より効果的、効率的に保健事業を推進するために、職員の資質の向上ができるよう支援する。

(3) 市町支援の重点課題

- ア 母子保健
 - ・未熟児・多胎児等保健医療連携強化事業の評価
 - ・市町へ移行した未熟児支援の体制等の確認と支援
 - ・精神科医療との連携による子育て支援モデル事業
- イ 特定健診・特定保健指導
 - ・効果的な特定健診・特定保健指導実施体制の充実
 - ・第2期特定健診等実施計画に基づいた計画的な実施
 - ・受診率の向上、効果的な保健指導の更なる推進
 - ・糖尿病重症化予防ネットワーク事業への支援
- ウ 健康増進・地区組織育成・健康づくり計画
 - ・食育の推進
 - ・がん検診受診率向上対策の推進
 - ・健康増進計画（第2次）策定への支援
 - ・健康増進計画に基づいた事業実施への支援
- エ 障害保健福祉
 - ・課題の整理、実施体制の整備・充実
 - ・在宅精神障害者の治療継続や家族への支援
 - ・自殺対策の推進
- オ 感染症対策・予防接種
 - ・感染症発生時に適切な対応ができるよう体制整備
 - ・予防接種事業の評価
 - ・市町新型インフルエンザ等対策行動計画策定への支援
- カ 高齢者に関すること
 - ・地域の実情に応じた介護予防体制の整備
 - ・改定された福祉施設防災計画作成指針に基づく防災関係の体制整備
- キ 健康危機管理
 - ・災害時における健康危機管理体制の整備・充実

(4) 市町と保健福祉センターとの事業検討会

(平成25年度)

市町名	実施日時・会場	出席者	内容
かほく市	平成25年5月17日(金) 13:30~16:00 かほく市宇ノ気保健福祉センター	市町: 保健福祉担当者 保健福祉センター: 企画調整課長 健康推進課長 企画調整課担当者	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度市町支援結果について 平成25年度における市町事業の課題、保健所への支援要望等について 意見交換
白山市	平成25年5月13日(月) 13:30~17:00 健康センター松任		
野々市町	平成25年5月14日(火) 9:00~11:40 野々市町保健センター		
津幡町	平成25年5月15日(水) 13:30~17:00 津幡町役場		
内灘町	平成25年5月15日(水) 9:00~11:30 内灘町役場		

(5) 市町支援実績

(平成25年度)

		策定・保健計画の地区診断	母子保健	健康増進	生活介護支援	歯科保健	感染症	精神保健福祉	難病	介護保険	健康危機管理	その他	計
研修会	回数		5	2			5		3			3	17
	参加人数		20	35			28		4			29	114
連絡会議	回数	10	123	59	8	3	15	41	2	14	3	5	283
	参加人数	81	764	419	56	17	39	134	5	104	33	37	1689
情報提供	回数	12	22	44	0	1	28	6	2	7	12	31	165

第 3 節 学会発表

1 石川県母性衛生学会(第30回)・北陸母性衛生学会(第28回)

開催日:平成25年7月27日

開催地:石川県

発表方法:口頭発表

管内におけるハイリスク妊産婦保健・医療連携事業の取組み状況について

寺尾知子 四方雅代 竹本玲湖 伊川あけみ(石川中央保健福祉センター)

【はじめに】

多胎妊娠や若年妊娠等は、妊娠中の健康管理のみならず出産後の育児においても困難が伴いやすい。そこで、石川県ではこれらの妊産婦に対し医療機関、市町、保健福祉センターの連携により、妊娠の早期から出産後の育児に至る経過を支援することにより、母の育児不安の軽減と子どもの健やかな成長を促すことを目的とした「ハイリスク妊産婦保健・医療連携事業」に取り組んでいる。この事業で保健福祉センターは、産婦人科医や市町との連携のもと、ハイリスク妊産婦に対し保健指導や家庭訪問指導を実施している。なお実施にあたっては、妊産婦等の不安の軽減に配慮し、妊産婦等や家族との関係づくりが心がけるとともに、市町との連携を密に行うこととしている。

今回は、平成22年度171人、23年度214人、24年度217人の計602人の当センターの連携ケースについて集計分析し、支援方法についても考察を行ったので報告する。

【事業の対象者と連携ケースについての集計】

1. 事業の対象者

ハイリスク妊産婦とその家族とし、具体的には、多胎、若年、未婚の妊産婦及び身体的・精神的疾患を抱える妊産婦、産後うつ(疑い)の産婦(EPDS高値:エジンバラ産後うつ病自己評価票によるスクリーニング9点以上)、その他妊娠、育児に身体的・精神的困難が予測される妊産婦とその家族。

2. 連携ケースについての集計

(1)平成22年度～24年度の産婦人科医等からの連絡票(以下連絡票)と支援ケース記録の内容を集計

なお、妊娠中と出産後の2回連絡票の提出があったケース(18人)についてはそれぞれ計上

(2)連絡票に記載されている母のリスク要因として「多胎」、「若年」、「未婚」、「母の身体的疾患」、「母の精神的疾患」、「EPDS高値」、「その他」の7項目を、年齢別、妊・産婦別に集計

(3)保健福祉センターの支援状況の集計

【結果】

■母のリスク要因別人数は、「EPDS高値」が252人(41.9%)と最も多く、次いで「多胎」が73人(12.1%)、「未婚」が62人(10.3%)であった。

■年齢別リスク要因として、19歳以下では55人中「若年」53人(96.4%)と「未婚」23人(41.8%)が多く、20歳以上では547人中「EPDS高値」が244人(44.6%)とどの年齢グループでも最も多かった。また「母の精神的疾患」については19歳以下では55人中0人であったが、40歳以上では27人中5人(18.5%)であった。

■妊・産婦別にリスク要因をみると、妊婦は135人中「多胎」49人(36.3%)、「未婚」26人(19.3%)、「若年」22人(16.3%)の順に多いが、産婦は467人中「EPDS高値」が252人で全体の54.0%を占めている。

■リスク要因別に連携時期をみると、「多胎」、「母の身体的疾患」は妊娠期での連携数が多く、「EPDS高値」はもちろんのこと、「母の精神的疾患」は産後の連携数が多かった。

■保健福祉センターの支援方法を、直接支援と、市町等が主となる間接支援に分けてみると、直接支援が358人(59.5%)、間接支援が244人(40.5%)であった。「母の精神的疾患」に限って支援方法をみると、52人中、直接支援が36人(69.2%)、間接支援が16人(30.8%)であった。

【考察】

■連携ケースの出生数に対するおおよその割合を平成23年度でみると、平成23年の出生数は2329人で、連携ケースは214人であり、約9%について産婦人科医や市町と連携してケース支援を行った。現在は核家族化が進んでおり、相談者がいない母に対しては、行政が少しでも早く支援していくことが求められている。

■保健福祉センターの機能として、以前から精神保健対策の中心的役割を担ってきた経験を生かし、精神的疾患を抱える母への直接支援の割合が増加。今後も市町と連携しながら母へのメンタルヘルズ対策に力を入れていきたい。

■今後、当事業をさらに周知し支援が必要なケースについて妊娠期から母親に支援できるようにしていきたい。

第4節 指導監査・実地指導

1 社会福祉施設指導監査

(平成25年度)

施設種類及び施設数	目的	内容
老人福祉施設：11 児童福祉施設：26 障害者施設：9	社会福祉法人、社会福祉施設の事務処理及び運営等が適切に行われるよう、実施指導を行い、社会福祉の推進を図る	・利用者及び職員の健康管理 ・災害対策 ・感染症防止及び衛生管理 ・事故防止、身体拘束等防止 ・個別援助計画の把握 など

2 介護保険

(1) 介護保険関係事務

(平成25年度)

区分	業務内容
介護保険事業計画に関すること	・管内サービス基盤及びサービス提供等の現状把握 ・市町介護保険事業計画協議会等への参加
介護認定に関すること	・要介護認定に係る訪問調査員に対する研修の実施補助 ・介護認定審査会委員に対する研修の実施補助
介護支援専門員の支援に関すること	・市町における介護支援専門員連絡会等への参加・助言
介護保険審査会に関すること	・介護保険認定に関する処分の審査請求に係る専門調査
介護保険施設等従事者への研修	・高齢者施設職員への研修
高齢者虐待防止に関すること	・高齢者虐待防止ネットワーク会議等への参加
市町及び介護保険施設等への指導に関すること	・介護保険市町（保険者）事務支援の実施 ・介護保険施設等実地指導の実施

(2) 介護保険施設等実地指導状況

石川県介護保険施設等指導監査要綱等に基づき、介護サービス事業者等のサービスの質の確保・向上を図ることを目的に実地指導を行う。

(平成25年度)

区分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	居宅介護サービス											
				居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	居宅療養	通所介護	通所リハ	短期生活	短期療養	特定施設	福祉用具
件数	2	1	1	3	-	-	-	1	-	2	1	1	-	3	-

(3) 介護保険市町事務支援実施状況

(平成 25 年度)

実施日時	目 的	内 容
野々市市：実地指導 平成 26 年 3 月 20 日（木） 13:30～16:00 内灘町：書面審査	市町における介護保険事業計画の適正な運営及び介護保険財政の健全化推進のため、保険者事務に関する事項について周知するとともに技術的助言を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・体制整備に関すること ・要介護認定事務 ・介護認定審査会の運営状況 ・地域支援事業実施状況 ・保健福祉事業実施状況 等

第5節 研修・学生指導

1 地域保健従事者への研修

(平成25年度)

項目	日時・会場	対象	研修内容	参加者数
公衆衛生看護と経済学	平成25年10月21日(月) 13:30~15:30 県庁	地域の保健福祉関係者	・講演及び演習 「健康づくりを経済的に評価する」 講師及び助言者： 金沢医科大学看護学部地域看護学 教授 中島 素子 氏	16人
対人関係技法	平成25年12月18日(水) 14:00~16:00 県庁	地域の保健福祉関係者	・講演「笑ってつながろう！コミュニケーションの輪◎」 講師： 日本笑い学会理事・ユーモアコンサルタント 矢野 宗宏 氏	20人
公衆衛生看護と統計・統計学	平成26年2月24日(月) 13:30~16:00 県庁	地域の保健福祉関係者	・講演及び演習 「統計・統計学の基本と地区診断への応用」 講師及び助言者： 武庫川女子大学 食物栄養学科 教授 林 宏一 氏	12人

※平成24年度より、県健康推進課で一括して石川県内の実務経験3年未満の保健師を対象とした「新任保健師研修会」を体系的に実施することとなり、平成23年度まで当センター主催で開催していた「新任者研修会」「新任者フォローアップ研修会」は終了。

2 医師臨床研修

平成16年度から医師に対する2年間の臨床研修が必須化（医師法等の一部改正）し「地域保健・医療」研修の一環として保健所における研修を実施している。

(平成25年度)

病院名	研修医数	研修期間
金沢医科大学病院	2人	平成25年9月 平成25年12月 (1ヶ月×各1人)

3 学生実習指導等

(平成25年度)

学校名	学生数	実習期間
県立看護大学	37人	平成25年5月～7月 (2日間×3G)
金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻	8人	平成25年7月 (2日間×2G)
金沢医科大学看護学部	6人	平成25年8月 平成25年11月 (0.5日間) (1.5日間)
県立総合看護専門学校第三看護学科	35人	平成25年8月 (0.5日間)
兵庫大学	1人	平成25年8月 (5日間)